



No.27

発行
村山市商工会
会長 茨木久弥

平成18年1月1日



謹賀新年

平成18年1月1日

轟音！立ち昇る湯気
きびきびと動く人影

新年明けましておめでとうございます。
年の初めに当り、市内商工業界の一層のご発展を心からお祈り申し上げます。

本年の巻頭記事は、先年末に、商工会の記者が街中でも元氣印とされている市内新町の六歌仙酒造協業組合の訪問記事です。

応対した社長の話によれば、近年全国的に日本酒の売り上げが憂慮されている中で、山形県内五六蔵は一蔵の休みもなく、順調に良い酒を造り続けている。その理由は、

- 一、早くから高級酒造りに励んできたこと。
- 二、工程を工夫し、機械化に取り組んできたこと。
- 三、研究スタッフを充実し、時代の動きをとらえてきたこと。

を上げ、業界の発展には、新しい時代に対応できる積極進取の人材育成が大事と語ってくれた。

**芳醇な香りエアシューターを走る蒸し米
ひねり餅の旨さ 居並ぶ発酵タンクの偉容**

村山市の商工業の優れた生産物は、県内でも質量とも最高水準にあり、昨年東京で開催された機械工業展でも実証されている。

やっばり、時代を制する人は、未来志向の先見の目のある人達です。村山市内でも自社ブランドで成功している人は沢山います。私のところなど、学ぶことは多く、諸先輩のご指導を心からお願いしている次第です。と結んだ。

外に出ると、年の瀬には珍しい太陽の光が弾けていた。



新春対談

景気が回復基調の一方、地方を取り巻く状況は厳しいまま、新年を迎えた。どう未来を切り開いていくのか。初春に、村山市商工会会長次木久弥氏と村山市長佐藤清氏が、古里振興を展望した。

◆◆商店街活性化◆◆

茨木 商店街の活性化は市勢発展に欠かせない要素。中心商店街は市の顔でもある。市が福岡地区を対象にして進めている「まちづくり交付金」事業は、商店街の活性化に向けても大いに期待している。

佐藤 「まちづくり交付金」事業については、図書館機能を持つ複合型文化施設をメインに流雪溝や辻(つじ)広場を整備する。文化施設は、教育、文化、産業、祭りなどの振興に寄与すべく、その機能とともに誰もが気軽に集えるよう配慮したい。事業を推進する協議会部会を通じ、商店街にも有用な施設となるよう意見を聞き、くみ取っていくつもりだ。

◆◆徳内まつり◆◆

茨木 「むらやま徳内まつり」は県内を代表する夏祭りの一つに育ってきた。市、市民にとっても大きな活力源だ。半面、踊り手団体や見物客の増加に伴い、安全の確保の視点からも会場が手狭になってきている。また、スタートしてまだ十一年の発展途上の祭典。今後、どう成長させるかも重要だ。

佐藤 「むらやま徳内まつり」の会

場規模については指摘通り、今後のさらなる発展に向け、安全確保の視点から検討が必要と認識している。課題については、少しずつ着実に改善していきたい。また、徳内まつりは、

いろんな意味で将来的な可能性を有するイベントと考えている。例えば、東根市から新庄市まで広域的に連携、交流し、一つのストーリー性を持った夏祭りを展開すれば、波及効果も拡大するのではないかと。

◆◆商工業の振興◆◆

茨木 商工業を取り巻く環境は依然として楽観視できない状況が続いている。商工会としても経営指導に努めているが、行政としての振興策を伺いたい。

佐藤 地域の熱意を生かすため、自治体が必要な上積みを実施し、国、県などの制度を有効活用しながら、地域に合った、村山らしい制度を設けたい。特色ある商品、技術の開発、起業化を促す融資、支援が具体的な手立てとなるだろう。また、「とくとく徳内お買物券」も商業振興への有効策として継続を後押ししたい。

茨木 北海道厚岸町と友好都市盟

◆◆友好交流拡大◆◆

約を結んでまる十五年になる。商工会主催の「厚岸直送かきまつり」は毎年、五千人以上の来場があるなど市民から好評を得ている。農協でも厚岸町と連携した「ふるさとフェア」を同時期に開催しており、これらを合体させた一大イベントに展開してもいい時期と考

佐藤 イベントとしては市民が期待する在り方にもっていくのが望ましい。北村山地域に広く呼び掛け、規模を拡大する手法もある。できる協力は惜しまない。

◆◆商工会に望む◆◆

茨木 北村山商工会広域連携協議会が設立され、四月一日、いよいよ広域的な業務がスタートする。期待していることは、

佐藤 研修・講座などの広域開催による相互の研鑽、経費節減による事業の効率化など成果は大なるものと期待している。とりわけ、発信を含めて情報の広域化、エリアでの共有は市にもたらすものが大きいと考えている。地域産業発展の起爆剤となることを望んでいる。



むらやま 第2ステージ 徳内まつり

十一年目を迎え、三日間の本まつり開催に変更したむらやま徳内まつり。出演団体数も、市内外から二十八団体と過去最高となった。徳内はやし共演は、ステージをパレードエリアに組み込み、十六エリアとし、パレード・ステージを一体として実施した。

初日・二日目が、あいにくの雷雨と、天候に恵まれなかったが、出演者は逆に熱気を感じさせる踊り・お囃子であった。

昨年のまつりにおいて、特筆すべきことは、清掃ボランティアの充実、まつり広場の禁煙化、トイレ数の増大、試験的にはあるが騒音調査の実施等、環境整備に今までになく力を注いだことである。

第12回北海道厚岸直送かきまつり

もはや恒例になった「厚岸直送かきまつり」も、第十二回を数えました。十月十六日、基点の会場には、朝早くから各支部や青年部、女性部の係員が集合し、例年通り、一斉に牡蠣の袋詰めから作業開始です。

その傍らでは、前夜からの雨でぬかるんだ地面に砂利を搬入して、会場整備に大わらわ。

お昼頃から天候も回復し

て、お客様もほとんど押ししかけ、座席を取るのに必死の様子。会場係は、炭火の具合や、牡蠣の焼き方に気を配りながら大奮闘です。

また今回は、前売り券に付いている抽選番号で賞品が当たる抽選会を行いました。一喜一憂しながらも、お客様は秋空の下、本場の牡蠣の味を堪能されていました。



青年部事業

平成十七年度青年部は、地産地消の推進と、商店街の活性化を図ろうと地元商店街の空店舗を利用した直売店「アグレンジャー」を村農生とともに開設してみた。店名は農業のアグリカルチャーと挑戦者のチャレンジャーをもじったもので、今後も農産物販売を通して新商品開発など、新しいことに挑戦していく思いを込め命名した。

実施販売では、多くの方々にご来店いただき大盛況のうちを終えることができ、今後の継続へ今回の経験を生かしていくこととしました。



女性部事業

女性部では、「バリアフリーを考えるまちづくり」事業をスタートさせた。まの現状はどんなものか、先日、部員が実際にまちを歩いてみた。公共的な施設や新しい建物は、段差等に配慮がなされておりましたが、反面、商店のドアや公園内のトイレのドアの位置、マンホールの出っ張りなど気になる所が多く見られた。住み良いまちづくりのために、女性部としてお手伝い出来ればと思います。



山形県
最低賃金

(平成17年10月1日改定)

1時間

610
円

とくとく徳内 お買物券で活性化!

数えて7回目の「とくとく徳内お買物券」事業を12月1日から1月31日までの期間で実施中です。

お客様の市外流出を防ぐことと固定化を図る為の事業です。登録店のあなたが主役となる事業です。下記日程をもう一度確認のうえ、積極的にPRしながら取り組んでいくことがとくに大切です。

- お買物使用期限日 1月31日(火)
- 最終換金請求締切日 2月1日(水)
- 最終換金日 2月7日(火)
- Wちゃんず当選番号発表日 2月8日(水)
- Wちゃんず当選者受付期間 2月20日(月)

村山市経営者懇話会

2006年 新春講演会

- ◆日時 1月12日(木)午後4時～ ◆場所 クアハウス暮点「はやま」
- ◆演題 「今後の市政運営」 ◆講師 村山市長 佐藤清氏

「税の相談所」開設

税務、経理、決算、確定申告や消費税等について、なんでもご相談ください。税理士が相談に応じます。

- 期 日 2月20日(月)、3月1日(水)、3月10日(金)
- 時 間 午前10時～午後3時
- 会 場 村山市商工会館
- 問い合わせ先 村山市商工会 TEL:55-4311

おめでとろごぞひます

経営改善普及事業の功労者として次の方々が受賞されました

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ☆ 全国商工会連合会長表彰
『役員功労者』 | ☆ 山形県商工会連合会長表彰
『優良従業員』 |
| 服部 智彦 (副会長) | 鈴木 富雄 (製スズキ) |
| 菅井 清剛 (理 事) | 鈴木 吉弥 (製スズキ) |
| 安達 毅 (理 事) | 保科 秀夫 |
| 越川 良子 (理 事) | (京浜パネル工業株) |



10 月々2,500円の掛金で
大きな安心(15口まで加入可能)

商工会の会員及びご家族、従業員の方で、年齢6歳から65歳までの健康な方ならどなたでも加入できます。

★1つの掛金で3つの備え

●貯蓄 ●保険 ●融資

★3口以上加入の方に「人間ドック助成金制度」があります。(加入後6ヶ月経過の方)

助成金/2,000円(受診費用10,000円以上)

全国商工会 会員福祉共済



こんな時でも安心。

福祉共済があなたの暮らしをまもります。



年金・次子会・母親・児童
福祉に幅広く一役

充実した入院・通院補償

子育てもすまい補償

国内外・24時間7日24時間

1日あたり999円99
以内で加入できる補償
2006年10月現在実施

北村山商工会広域連携協議会を設立

商工会の広域化を進めるための「北村山商工会広域連携協議会」の設立総会が十二月二十一日に開催され設立されました。設立総会では協議会の運営に必要な規約の承認や役員を選任、更には平成十八年度の事業計画と予算案等が慎重に審議され全て原案通り承認されました。その後北村山三市一町の

商工会長により「北村山商工会広域連携協議会協定書」への署名調印が行われ協議会が正式に設立されました。これを受け広域連携の業務は四月一日からスタートすることになります。尚、村山市商工会から選任された役員は栗木会長(協議会会長)鈴木、服部副会長(協議会理事)の三名です。

— 会員加入促進運動にご協力下さい —

皆様方の取引先やお知り合いの方で、まだ未加入の方がおりましたら、加入のお声がけをお願いします。商工会へ加入していただきますと、経営・税務・金融・情報化・労務等の相談指導、各種共済制度の紹介等いろいろな特典が受けられます。なお、加入手続きは事務局職員が対応いたしますので、ご連絡ください。

新入会員紹介 (平成17年10月11日～11月)

事業所名	代表者名	業 種	住 所
神ヤマガワ村山店	山 澤 進	小 売 業	福岡新町
小山義巳一級建築設計室	小 山 義 巳	サービスマ	福岡新町

編集後記

今年には戌年と言う、ワンのちゃんのように元気に吠えまくりたいもの。編集委員もみんな元気だ。頑張るぞ。(大戸 記)

『広報委員』 古澤 龍一
大戸 忠吾・松岡洋一郎
柴田 正信・保科 裕之

会報に関するご意見・ご感想をお寄せ下さい。

村山市商工会

TEL(55)4311